

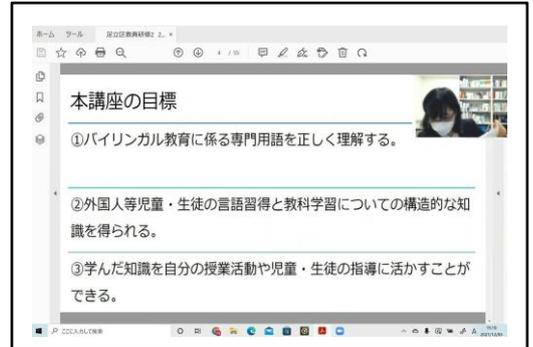
METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 日本語支援と中国語・日本語通訳コンテスト

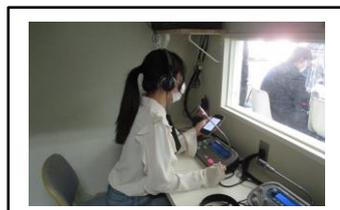
2021年12月3日、足立区との教育連携に基づく「明海大学連携事業『小学校教員向け外国人児童の日本語指導研修会(第2回)』」がZoomで開催され、区内の小学校7校7人の先生方の参加がありました。講師は、外国語学部日本語学科・木山三佳教授が務めました。

研修主題を「ことばと教科の力を育てる教育実践」とし、ことばと教科に焦点を当てて児童をいかにして授業に参加させるかについて理論面と実践面から考える内容にしました。理論面では外国人等児童の言語習得と教科学習についての構造的な知識の解説、実践面では教科指導の計画を「体験、探求、発信」の順でつくる演習などを行いました。



※木山教授のZoomによる研修の資料

2021年12月22日、教育連携協定に基づいて東京都立田柄高等学校の日本語指導研修会において本学の田川麻央講師が指導を行いました。当日は、10人の先生方を対象に「外国人生徒のための学びの支援」をテーマとして、日本語に課題のある外国人生徒への指導の内容と方法について基本的な事項を中心に講義を行いました。講義の後、参加した先生方からは「アンケート調査などを行った時にうまく日本語が通じない生徒への指導をどうすべきか」などの質問が続けて投げかけられ、田川講師からは「教員は複数の指示を一度に行うのではなく、一つ一つの指示の生徒の理解を確認しながら答えるとよい」などの提案が返されました。



2021年12月18日に、「第5回中国語・日本語通訳コンテスト」(主催:明海大学と都立高等学校との中国語教育連絡協議会 協賛:明海大学地域学校教育センター)が開かれました。当日は、8校から15人の高校生が参加いたしました。通訳訓練の部の最優秀賞は都立深川高校、逐次通訳の部の最優秀賞も都立深川高校が受賞しました。大学を代表し安井利一学長の挨拶の後、午前午後に分かれてコンテストが行われました。地域学校教育センターからは、例年どおり奨励賞が授与されました。教職課程中国語学科4年の島田美蝶さんは、流暢な中国語を駆使しながら、通訳ブース体験の通訳のお手伝いをしていました。

2022 明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウム(予告)

大学生ボランティアの関わり方を探る

～社会に開かれた教育課程から考える～

開催日:2022年2月5日(土)12時から16時45分まで【オンライン開催】

基調講演:「ナナメの関係の可能性～大学生ボランティアの全国事例から考える～」

講師:今村 亮氏(桜美林大学 入学部 高大連携コーディネーター)

アゴラ活用状況(人)

12月 650

2018年度
から延べ数 37,870

地域学校教育センター関連事業等

2021年12月24日、2206講義室において、「2021年度ボランティア活動報告会」が開かれました。今年度は高橋勇氣さん（英米語学科4年）、嶋田宗晋さん（英米語学科4年）、鶴沢美里さん（英米語学科4年）が、パワーポイントを使いながらわかりやすく体験談を披露してくれました。冒頭では高野副学長から挨拶をいただき、報告を終えてからは大澤貴士学生支援課長からの講評をいただきました。3人の学生は、60時間以上のボランティア時間を終え、2000字以上のレポートを提出し、2年生から4年生の学生を前に10分程度の報告をしました。

170時間を超えるボランティア活動を実施した高橋さんは「この秋、無事東京都の教員採用試験に合格しました。大学1年次から継続してきた小学校現場でのボランティア活動体験が、教員採用試験合格に有利に働いたと思います。4月から教壇に立ちますが、この貴重な経験を生かしていきたいと思います。貴重な機会と経験を与えてくれた明海大学と、受け入れて下さった小学校に対しては、心から感謝しています」との言葉を語ってくれました。



祝 全国大会 第2位受賞!

2022年1月9日に日中友好会館大ホール（東京）で開催された「第39回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会」で、教職課程を履修している出地佑希さん（中国語学科4年）が、大学生スピーチ部門で第2位と、NHK会長賞のダブル受賞となりました。出地さんは「大家好！中国語学科4年の出地です。1、2年生そして最後の学年に挑んだ10月の県予選を勝ち抜き、『3度目の正直』で迎えた全国大会の大学生スピーチ部門で念願の入賞を果たし、有終の美を飾ることができました。これまで多くの時間を割いて私の指導に当たってくれた中国語学科の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。現地にもわざわざ応援に駆けつけてくれる先生方や友人を思うと、私はいかに恵まれた環境で学修させてもらっているのかを気づくことができました。卒業後は中国語とは別の世界に進みますが、明海大学で得た学びや経験は一生の宝物として、将来の糧にしたいです」と語ってくれました。

2021年12月23日、30周年記念館学生ホールにおいて、吹奏楽部が「2021年度明海大学吹奏楽部クリスマスコンサート」を開催しました。工藤楓部長（日本語学科4年）はじめ5人の教職課程履修学生（網中萌恵さん、橋口和樹さん、牧和摩さん、坂内隆斗さん、佐藤音羽さん）が、恋人たちのクリスマス、ジングルベル、オーメンズ・オブ・ラブ、学歌『よろこび』、Catch the Dream、ロマネスク、美女と野獣などクリスマスにまつわる曲目を演奏して観客を楽しませていました。アンコール曲は、吹奏楽部のレパトリーの一つである「勇氣100%」でした。

